



学校だより 1月

令和2年 1月 7日 横浜市立芹が谷南小学校

視野を広げ 夢を広げる年に

学校長 高木 篤子

2020年、東京オリンピック・パラリンピックイヤーの幕開けです。

「オリンピック、オリンピック。こう聞いただけでも、わたしたちの心はおどります。全世界から、スポーツの選手が、それぞれの国旗をかざして集まるのです。すべての選手が、同じ規則に従い、同じ条件のもとに、力を競うのです。遠く離れた国の人々が、勝利を争いながら、なかよく親しみあうのです。」（「五輪の旗」学校図書 小学校国語 6年下より）

1959年 IOC 総会で平沢和重氏が東京招致の演説を行った際に、次のように書かれていた当時の教科書の一説を読んだことが、NHK 大河ドラマの中でも伝えられていました。

そして、1964年に開催された東京オリンピックから56年後、再び聖火が東京に掲げられます。世界へ視野が広がり、心おどる年となることでしょう。

「失われたものを数えるな、残された機能を最大限に活かせ」

パラリンピックの父といわれるグットマン博士の言葉です。1948年にイギリスの病院で車いすでのアーチェリー大会を行われたことが基になり、1960年に第1回パラリンピックが開催されました。

できることを活かし新たなチャレンジをするパラリンピックを支える考え方は、私たちに自分のもっている力を信じて前へ進もうという勇気を与えてくれます。

本校では「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント推進校」としての取組において、11月末には横浜市体育協会のご協力で1・2・5・6年生がボッチャ体験を行いました。12月には、ブラインドサッカー日本代表のキャプテンを務めた落合選手が来校され、全校テレビ放送でのご講演と、3・4年生へブラインドサッカー体験のご指導いただきました。パラスポーツに親しみ、人と人との交流について考えるよい機会となりました。

落合選手のご講演の中で、夢に向かうことの大切さを語っていただきました。夢が叶うという結果だけではなく、悔いのないように努力することが大事だということが心に残りました。子どもたちの将来に向かう過程での個々の努力の価値を感じることができました。



新しい年、子どもたちが視野を広げ、夢を広げる年となりますよう願っています。
本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。